

# ICT・AIを活用した観光渋滞対策社会実験 観光交通イノベーション地域 公募要領

## 1. 概要

- 国土交通省では、観光地周辺で広域的に発生する渋滞を解消し、回遊性が高く、円滑な移動が可能な魅力ある観光地を創造するため、ICT・AI等の革新的な技術を活用し、警察や観光部局とも連携しながら、エリアプライシングを含む交通需要制御などのエリア観光渋滞対策の実験・実装を推進していきます。
- このため、これら技術を検証するための「観光交通イノベーション地域」を公募します。

## 2. 募集対象

- エリア観光渋滞対策の検討に資する地域を2～3箇所募集します。

## 3. 応募主体

- 広域的に渋滞が生じており、今後、当該観光地周辺でエリアプライシングの導入を検討している地域の市町村（もしくは都道府県）
- 都道府県が応募主体となる場合、実験実施地域である当該都道府県内の市町村と実証実験の実施に関して調整が図られていることが必要です。

## 4. 企画提案内容

- 表1 ①～③の内容について、A4横のパワーポイントで、各項目につき2～3枚程度で作成してください。

<表1：実験実施地域 公募要領の企画提案内容>

項目	企画提案内容
①地域の課題	地域の観光特性、観光渋滞の状況 等
②これまでの取組	ソフト・ハードを含めた渋滞対策の実施状況 等
③今後の取組方針	今後実施予定、又は検討中の渋滞対策 等

## 5. 応募手続き

- 企画提案書の受付期間  
平成29年8月2日（水）～平成29年8月21日（月）
- 企画提案にあたっての相談、問い合わせ、提出  
企画提案しようとする案件の内容についての相談や企画提案書類の作成方法等の問い合わせ、提出は、以下までお願いします。  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
国土交通省道路局企画課  
担当 篠田、河原  
電話 代表 03-5253-8111（内線 37552） 直通 03-5253-8485

## 6. 企画提案の評価基準

○地域の選定にあたっては、以下の評価基準に基づき、総合的に評価を行います。

<表2：実験実施地域 公募要領の評価基準>

項目	評価基準
① 的確性	・ 地域の課題に対応した取組となっているか
② 実行性	・ 関係機関との連携体制が既に構築されている。又は構築の見込みがあるか
③ 具体性	・ これまでの取組結果を踏まえた今後の取組内容が具体的に示されているか
④ その他	・ 公募の趣旨に合致しているか

## 7. 選定の流れ

○8月2日（水） 企画提案の公募開始

↓ ←→ 窓口と相談

○8月21日（月） 企画提案の提出〆切り

↓ ← 有識者の助言

○9月頃 選定

## 8. その他

### (1) 役割分担

○社会実験の実施にあたっては、実験実施地域毎に国土交通省（地方整備局等）を中心とした実験協議会を設置し、この協議会が主体となり実証実験の運営・評価等を行います。

○主要な関係機関の役割分担については、以下を基本としつつ、詳細は実験協議会における議論を踏まえて決定するものとします。

#### 1) 国土交通省（地方整備局等）

実験協議会の運営・管理、実験実施計画（実験場所、実験内容、スケジュール等）の策定、実験の実施、現場管理、データの収集・解析、結果の評価 等

#### 2) ICT・AI技術提供協力者（必要に応じ、別途公募予定）

実験実施計画に基づき必要となるICT・AI技術（機器）の提供・設置・撤去、データ取得等に係る技術的アドバイス 等

#### 3) 市町村等（今回公募対象）

実証実験の場所の提供・管理、実験に係る関係者（道路管理者、観光施設管理者等）との調整、実験結果の評価に資する既往調査の提供 等

## (2) 経費負担

○経費負担については、以下を基本としつつ、詳細は協議会における議論を踏まえて決定するものとします。

### 1) 国土交通省（地方整備局等）

社会実験協議会の運営・管理に係る経費、実験実施計画の策定に係る経費、ICT・AIを活用した社会実験に係る経費（通信費等のランニングコストを含む）等

### 2) 市町村等（今回公募対象）

社会実験の場所の提供・管理に係る経費、実験に係る関係者（道路管理者、観光関係者、観光施設・駐車場管理者、住民等）との調整に係る経費、運営拠点（サーバ設置場所等）等の確保に係る経費、実験に係る光熱水料、催事・イベントに係る経費、恒久的な施設整備のための費用等

以上